

東京混声合唱団第255回定期演奏会  
THE PHILHARMONIC CHORUS OF TOKYO

東混

女声合唱のための  
三つの抒情

作詩:立原道造、中原中也 作曲:三善 晃

[新作委嘱初演]

Melodies in Mozart

編曲:上田真樹

レクイエム(室内楽版)

作曲:J.ラター



©青柳聡

指揮 藤岡幸夫  
ピアノ 浅井道子  
オーボエ 金子垂未  
フルート 小池郁江  
チェロ 西谷牧人  
ハープ 早川りさこ  
ティンパニー 武藤厚志  
パーカッション 前田啓太  
オルガン 浅井美紀

2021年3月7日(日) 15:00開演 (14:15開場) 杉並公会堂 大ホール

《全席指定》一般S席 4,500円 一般A席 3,500円 学生A席 1,500円  
《お問い合わせ》東京混声合唱団事務局 TEL. 03-3200-9755 FAX. 03-3200-9882  
<https://toukon1956.com>

チケット取り扱い ▶ 東京コンサーツ  
03-3200-9755 (平日11:00~16:00)  
<http://www.tokyo-concerts.co.jp> (HPから予約、セブンイレブンでお支払い・受け取りができます)  
▶ 東京混声合唱団オンラインチケット  
<https://toukon.tstar.jp/>  
▶ 杉並公会堂チケットセンター  
03-5347-4450 (休館日を除く10:00~19:00)  
(友の会会員割引あり。学生A席の取り扱いはありません)



主催:一般財団法人合唱音楽振興会  
助成:文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)  
協賛:サントリーホールディングス株式会社  
共催:杉並公会堂[(株)京王設備サービス]

# 東混 東京混声合唱団

The Philharmonic Chorus of Tokyo



1965年に創設された日本を代表するプロ合唱団。現在桂冠指揮者を務める田中 信昭によって創設された。東京、大阪での定期演奏会、内外のオーケストラとの共演やオペラへの出演、青少年を対象とした鑑賞音楽教室、海外公演を含む年間150回の公演のほか、数多くのレコーディングやテレビ、ラジオへの出演がある。レパートリーは、創立以来行っている作曲委嘱活動で生まれた200を超える作品群をはじめ、内外の古典から現代作品まで幅広く、各地の合唱団との合同演奏、指導者派遣等も精力的に行っている。文化庁芸術祭大賞、音楽之友社賞、毎日芸術賞、京都音楽賞、レコード・アカデミー賞、サントリー音楽賞、中島健蔵音楽賞などを受賞。



©Shin Yamagishi

## 藤岡幸夫 FUJIOKA Sachio (指揮)

英国王立ノーザン音楽大学指揮科卒業。1994年「プロムス」にBBCフィルを指揮してデビュー以降、数多くの海外オーケストラに客演。2016年にはブリュッセルでA. デュメイ、V. アファナシエフと共演。2017年5月にはアイルランド国立響にマーラーの第5交響曲で客演、聴衆絶立ちの大成功を取めた。マンチェスター室内管、日本フィルを経て、現在関西フィル首席指揮者、東京シティ・フィル首席客演指揮者を務める。毎年40公演以上を共演し2021年に22年目のシーズンを迎える関西フィルとの一体感溢れる演奏は常に高い評価を得、2019年4月の就任直後から展開している東京シティ・フィルとの特徴的な活動には大きな期待が寄せられている。テレビ、ラジオへの出演も多く、番組立ち上げに参画し、指揮・司会として関西フィルと共に出演中のBSテレビ東京「エンター・ザ・ミュージック」(毎週土曜朝8:30)は2020年10月に7年目に突入、放送300回を超える人気番組。2002年渡邊暁雄音楽基金音楽賞受賞。



## 浅井道子 ASAI Michiko (ピアノ)

都立芸術高校(現・都立総合芸術)音楽科を経て桐朋学園大学音楽学部を卒業。真柄万里子、関根春世、今泉統子、高良芳枝の各氏に師事。室内楽を三善晃氏に師事。独唱、合唱、室内楽における共演者としてさまざまな演奏会、放送に出演。「Miyoshi Piano/メソッド」(ビクターエンタテインメント)をはじめとして録音にも多数参加している。ソロコンサートのほかに東京文化会館主催「今日の作曲家シリーズ」、MUSIC TODAY等で日本の現代ピアノ作品を演奏した。

## 金子重末 KANEKO Ami (オーボエ)

千葉県出身。2012年東京芸術大学音楽学部器楽科管打楽器専攻を首席で卒業。安宅賞、アカンサス音楽賞、三菱地所賞受賞。第79回日本音楽コンクールオーボエ部門第3位。第28回日本管打楽器コンクールオーボエ部門第1位。第10回国際オーボエコンクール軽井沢第2位、奨励賞、軽井沢町長賞(聴衆賞)受賞。オーボエを和久井仁、小畑善昭、池田昭子の各氏に師事。札幌交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団を経て、現在、読売日本交響楽団首席オーボエ奏者。2017年11月、フォンテックより初のソロCD「Voyage」をリリース。

## 小池郁江 KOIKE Ikue (フルート)

東京藝術大学を首席で卒業、同大学院修士課程を修了。アフィニス文化財団の海外研修員として、ミュンヘンに留学。第11回日本フルートコンヴェンションコンクール第1位。第23回日本管打楽器コンクール第1位および特別大賞・文部科学大臣奨励賞・東京都知事賞受賞。第6回神戸国際フルートコンクール第5位。宮崎国際音楽祭、霧島国際音楽祭、サイトウ・キネン・オーケストラに出演。現在、東京都交響楽団フルート奏者。東京藝術大学、桐朋学園大学の非常勤講師として後進の指導にもあたっている。

## 西谷牧人 NISHIYA Makito (チェロ)

奈良県出身。東京藝術大学、同大学大学院、米国のインディアナ大学を修了。河野文昭、菊地知也、堤剛、ヤーン・シュタルケルの各氏に師事。兵庫芸術文化センター管弦楽団の創設メンバーを経て、2008～2019年まで東京交響楽団首席チェロ奏者を務める傍ら、東京藝術大学非常勤講師として後進の指導にもあたる。2013年度青山音楽賞受賞。2015年自作自演弦楽ユニット「清水西谷」を結成。オーケストラを退団後は、パッサカリアからジャズ、タンゴ、ポップス、自作自演までジャンルを超えた演奏活動を展開している。

## 早川りさこ HAYAKAWA Risako (ハープ)

NHK交響楽団ハープ奏者。東京藝術大学卒業後、第3回日本ハープコンクール、及び第2回アルピスタ・ルドヴィコ・スペイン国際ハープコンクールにて優勝。ヘンデミット「木管楽団、ハープとオーケストラのための協奏曲」の他、数多くの協奏曲を日本初演している。また、タン・ドゥン「13のマイクロフィルムとハープの為の協奏曲」を作曲家自身の指揮でNHK交響楽団と世界初演した(NHK交響楽団、フィラデルフィア管弦楽団、ロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団の共同委嘱作品)。国立音楽大学で後進の指導にもあたっている。

## 武蔵厚志 MUTO Atsushi (ティンパニー)

東京都出身。東京音楽大学を首席で卒業。大学卒業後は桐朋オーケストラアカデミーにて研鑽を積みながら東京を中心にオーケストラのエキストラとして活躍。2006年より2015年まで札幌交響楽団に首席ティンパニ&打楽器奏者として在籍。2013年5月札幌交響楽団定期演奏会にてW. テーリヒェンのティンパニ協奏曲をソリストとして出演。佐野恭一、菅原淳、岡田眞理子、久保昌一、藤本隆文の各氏に師事。読売日本交響楽団首席ティンパニ奏者。紀尾井ホール室内管弦楽団メンバー。

## 前田啓太 MAEDA Keita (パーカッション)

武蔵野音楽大学卒業。ドイツ国立カールスルーエ音楽大学へ留学。同大学大学院修士課程にて満場一致の最優秀の成績を得て帰国。2011年バーデン文化財団主催の国際音楽コンクール「Kulturfonds Baden Wettbewerb」第1位受賞。第31回日本管打楽器コンクール・パーカッション部門第2位受賞。2012・13年サイトウ・キネン・フェスティバル「兵士の物語」に出演。2014・15年度(一財)地域創造・公共ホール音楽活性化事業登録アーティスト。これまでに打楽器独奏によるCD「I Ching」をリリース。

## 浅井美紀 ASAI Miki (オルガン)

東京藝術大学音楽学部卒業。同大学院音楽研究科修士課程修了。安宅賞、アカンサス音楽賞受賞。横浜みなとみらいホール・オルガニスト・インターンシップ修了。オルガンを池田泉、廣野嗣雄、早島万紀子、三浦はつみ、通奏低音を今井奈緒子、廣野嗣雄、チェンバロを故小島芳子の各氏に師事。これまでに東京藝術大学助手、青山学院高等部講師を務めたほか全国各地において演奏会を行っている。現在、青山学院高等部オルガニスト、水戸芸術館「幼児のためのパイプオルガン見学会」オルガニスト、日本オルガニスト協会、日本オルガン研究会会員。

## 杉並公会堂

Suginami Koukaidou

〒167-0043 東京都杉並区上荻1-23-15

Tel: 03-3220-0401

<https://www.suginamikoukaidou.com/>

